

日本劇作家協会 2017年度(平成29年度) 事業計画

1. 育成、コンクール、セミナー

- ①第23回劇作家協会新人戯曲賞
7月1日～8月1日 作品公募
7月～10月 一次審査、二次審査
11月下旬 最終候補作掲載の「優秀新人戯曲集2018」刊行
12月17日(日) 最終選考会(公開)、受賞作発表、授賞式(於 座・高円寺)
- ②戯曲セミナー:通年講座(於 座・高円寺稽古場)
5月24日～3月7日 水曜夜の全30コマ
- ③戯曲セミナー:研修課(文化庁委託事業)
6月上旬～7月 新規研修生公募、選考
～3月 担当講師の個別指導による研修実施(継続研修生は5月から)
- ④公開講座(文化庁委託事業)
8月5日と6日 座・高円寺2で開催

2. 普及、ワークショップ、シンポジウム

- ①ドラマリーディングのワークショップと発表会(文化庁委託事業)
 - ◎東京
 - 1) 月いちリーディング:5月～3月に7回、リーディングのワークショップを開催(於 座・高円寺稽古場)
 - 2) ドラマリーディング発表会:12月16日と17日、ドラマリーディング発表会を開催(於 座・高円寺2)
 - ◎大阪
 - 1) 月いちリーディング:7月、10月、2月にリーディングのワークショップを開催(於 common café)
 - 2) ドラマリーディング発表会:11月23日にドラマリーディング発表会を開催(於 ドーンセンター)
 - ◎神奈川
 - 1) 月いちリーディング:6月、3月にリーディングのワークショップを開催(於 神奈川県立青少年センター)
 - ◎北九州
 - 1) 月いちリーディング:11月にリーディングのワークショップを開催(於 枝光本町商店街アイアンシアター)
- ②「劇作家と俳優のためのせりふの読み方」ワークショップ(文化庁委託事業)
劇作家と俳優が参加してせりふを読むワークショップを開催する
→9月と2月に、1回4日間で計2回、都内や近隣の稽古場などで開催予定
→文化庁委託事業の枠とは別に、主に俳優を対象としたワークショップの開催も検討する
- ③座・高円寺での日本劇作家協会プログラムを後援する
- ④2018年度大分市での劇作家大会計画の調査検討を進める

3. 出版

- ①戯曲英訳出版(文化庁委託事業)
現代日本戯曲を英訳出版して海外に紹介する(戯曲集の第3巻を3月に刊行)
- ②戯曲オンデマンド出版と戯曲デジタルアーカイブについての調査、検討を継続して行う
- ③会報の発行:従来型の会報『ト書き』や自由な形式な特別版を発行する

4. 震災支援

- ①「SHINSAI: Theaters for Japan」などで寄せられた義援金による基金を元に震災支援事業を行う

5. 調査、資料収集

- ①座・高円寺の演劇資料室(アーカイブ)への協力を継続

6. 協力、パートナーシップ

- ①鶴屋南北戯曲賞への協力継続(12月に一次審査、1月に最終選考、3月に贈呈式)
- ②日本劇作家協会プログラムなど、座・高円寺の企画・運営についての助言、サポートの継続
- ③障がい者の観劇支援活動を行っているシアター・アクセシビリティ・ネットワーク(TA-net)に協力する

7. 国際交流

- ①各国の劇作家ならびに諸団体との交流継続
- ②各国(フランス、アメリカ、イギリス、中国、韓国など)と日本の相互による戯曲リーディング実施のための調査、検討を行う
- ③2015年度から開始した「海外演劇紹介プログラム」を継続する

8. 著作権

- ①戯曲の著作権全般についての調査、対応を継続
- ②「最低上演料決議」2012年度新規規定の公表と普及につとめる

9. 公益法人化

- ①公益社団法人認定のための調査・検討を進める

10. 支部

- ①北海道、東北、東海、関西、中国、九州、沖縄の支部ごとに事業を計画、実施

11. その他

- ①文化庁新進芸術家海外留学制度研修員募集への対応を継続
- ②代議員選挙の実施(11月選挙告知、1月投票開始、2月初旬開票、代議員14名を選出)